

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード

(心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

昭和世代と若者で善悪の基準そのものが異なる 鈴木 貴博 (百年コンサルティング代表)

- 20世紀以降、世界が大衆の時代を迎えると以前にはなかった善悪が出現します。他人がそれを不快に感じるという基準です。ニーチェの道徳論の思想からそれぞれ理解することができます。ニーチェは、大衆社会では「他の違う行動をする者は道徳的に悪だ」という考え方が社会に広がると、20世紀の大衆化の時代を看破しました。
- この20世紀の思想は、昭和のおじさん世代に強固にしみついてしまった社会規範でもあります。一方で、21世紀に大衆社会は個人優位の社会に変わります。そして善悪の基準が「多様性の時代には少数派を不快に感じさせる行動は悪だ」という思想へと進化します。そこで、退職代行会社です。20世紀の善悪を基準にしている側から見れば、社員が退職代行会社を使って辞めていくのは「他の社員と違う行動でマナーが悪い」と感じます。
- 21世紀の善悪を基準にしているZ世代の側から見れば、「そういうことを平気で言うおじさん世代管理職の考えが不快だ」ということになります。おじさん世代にとって残念なことは、時代は多様性に向かっています。他と違って何が悪いのだと言われている時代に、「人としてそのやり方はおかしい」という心の叫びは通用しなくなり始めているのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年6月22日号)

経営者のための社会学

エンゲル係数が2000年以降で最高記録

- 家計支出に占める食料品の割合を示すエンゲル係数が、2023年9月に2000年以降での最高を記録した。さらに更新を続け、あとわずかで30%台に乗りそうな勢いだ。エンゲル係数とは豊かさの指数であり、その上昇は日本人が貧しくなったことの証左にほかならない。上昇の一因は食料品の値上がりにある。とくに生鮮食品の価格上昇が顕著だ。
- 食料品以外でも、さまざまな品目の消費が減少している。支出の「リストラ」対象となりやすいのは、通信費、仕送り・交際費、教育費などだ。通信費や塾の月謝など定期的な支出にも節約圧力が働いている。食料品の値上がりは一過性のものでなく、長いスパンで節約せざるをえない、と認識する世帯が増加したことの反映と推察される。

(参考:「週刊東洋経済」2024年6月22日号)

新規成長分野

外国人向けの知見を積み海外展開へ

- 日本経済は今、転換点を迎えている。円安による消費者物価の上昇に賃金上昇が追いつかず、個人消費が伸び悩んでいる。国内需要に支えられて成長してきた企業は、需要低迷に苦しむ。かといって、不慣れな海外展開ではブランド力が弱く、現地の趣向も分からないため、成功を手にするのは難しいだろう。
- だが、今は年間3000万人以上の外国人が来日し、その消費力は高まるばかりだ。その需要を取り込むだけでなく外国人向けの知見を積むことで、海外展開に備えることもできる。訪日需要を成長の糧に変える絶好の機会が到来している。例えば住設大手のTOTOは、「日本を世界のショールームに」という目標を掲げた。日本でウォシュレットの存在を知り、体験してもらう商業施設や空港の整備に動いた。

(参考:「日経ビジネス」2024年6月17日号)

古典に学ぶ

相手を自分だと思って見る

- 怒りの根本をひもといてみると、そこには「思い通りにならない苦しみ」があります。結局、自分の都合通りにならないから、人は怒りに振り回されるのです。
- 自分自身の心を省みて、その「都合」が正当なものかを考え、感情をコントロールする方法を学ぶのが仏教の教えです。そして、感情をコントロールするためには、まず、相手を自分だと思って見るのが有効なのです。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)